

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス大井店	階数	地上1F
建設地	大井町南部地区 8街区 1-1、1-2、1-3	構造	S造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	5,100㎡	作成者	中馬秀一郎
建築面積	2,063㎡	確認日	2019年2月20日
延床面積	2,033㎡	確認者	中馬秀一郎

外観バース等 別紙  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q のスコア = 2.8</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR のスコア = 3.5</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>建築外皮に於ける断熱性能を高め、冷暖房エネルギーの消費効率を高めると共に、過剰な空調能力を避け、必要最小限の室温環境が保てるように配慮した。</p>		<p>その他 特になし</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>開口部にはロールスクリーンを設け、日射遮蔽性能を高めた。また、ホルムアルデヒド等健康被害を起こす物質を含んだ仕上げ材の仕様を回避した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>天井高を高くとり、通路幅に余裕をもつことで自由な空間利用を可能にすると共に、利用者に圧迫感を感じさせないようにした。内装色はアイボリー色に統一し、照明計画を含めて豊かな雰囲気演出する。また、不特定多数の利用</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>空調室外機やその他設備機器が幹線道路から見えないよう、専用スペースに設置し、周辺の景観に配慮した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>設備システムの効率的運用に配慮し、メンテナンス等運用管理体制を確保する。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>建材には有害物質を含まない材料の使用とする。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>交通不可抑制と光害への配慮をした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される